

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 20 年 4 月 17 日 (2008.4.17)

【公開番号】特開 2005-259698 (P2005-259698A)  
 【公開日】平成 17 年 9 月 22 日 (2005.9.22)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-037  
 【出願番号】特願 2005-64215 (P2005-64215)  
 【国際特許分類】

H 0 1 R 13/639 (2006.01)

H 0 1 R 13/46 (2006.01)

H 0 1 R 13/74 (2006.01)

【F I】

H 0 1 R 13/639 Z

H 0 1 R 13/46 G

H 0 1 R 13/74 J

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 3 月 5 日 (2008.3.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の電気コネクタ (C 1) の第 2 の電気コネクタ (C 2) への接触を維持する固定装置 (1) であり、前記第 2 の電気コネクタ (C 2) は、前記固定装置 (1) と第 2 の電気コネクタ (C 2) との間に置かれたパネル (10) の後方に配置され、前記パネル (10) は、少なくとも 1 つのウィンドウ (11) を有し、前記第 1 (C 1) 及び前記第 2 のコネクタ (C 2) を前記ウィンドウ (11) を通して接続させ、

前記固定装置 (1) は、前記固定装置 (1) の前端部 (8) に配置された少なくとも 2 つのクリップ (2, 3) と、

前記固定装置 (1) の内部の少なくとも 1 つの窪み部 (4) と、

前記窪み部 (4) に繋がる少なくとも 1 つの外方開口部 (5) と、

を有し、

前記前端部 (8) は前記パネル (10) に向くようにされており、前記クリップ (2, 3) は、互いに向かって締め付けられ前記ウィンドウ (11) を通って前記パネル (10) に挿入され、続いて緩められて、前記ウィンドウ (11) に隣接する前記パネル (10) の部分に押し付けられ、前記固定装置 (1) の前記パネル (10) への締着を維持するよう、また、互いに向かって再び締め付けられ前記パネル (10) から取り外されて固定装置 (1) を解放するよう、設けられており、

前記窪み部 (4) は、前記固定装置の前記前端部 (8) から始まり、前記前端部 (8) とは反対側にある前記固定装置の後端部 (9) に向かって延び、

前記窪み部 (4) は、前記外方開口部 (5) を通って前記第 1 の電気コネクタ (C 1) を受けるようにされており、前記第 1 のコネクタ (C 1) は、前記固定装置 (1) 内に維持されたままであり、また、前記固定装置 (1) の前記前端部 (8) の前記外方開口部 (5) を通り前記第 2 の電気コネクタ (C 2) に接続されることが可能な固定装置であって、

前記窪み部 (4) は、前記固定装置の前記前端部 (8) から前記後端部 (9) への方向

上、横方向に減少する寸法を有し、ユーザは、前記固定装置の前記前端部（８）から前記後端部（９）への方向に、前記窪み部（４）内部で前記第１のコネクタ（Ｃ１）をスライドさせることにより、前記固定装置（１）に前記第１のコネクタ（Ｃ１）を位置づけることと、前記固定装置の前記後端部（９）から前記前端部（８）への方向に、前記窪み部（４）内部で前記第１のコネクタ（Ｃ１）をスライドさせることにより、前記固定装置（１）から前記第１のコネクタ（Ｃ１）を取り外すことができることを特徴とする、固定装置（１）。